

届け 世界の果てまでも

令和2年 9月18日

No. 33

文責 校長 飯久保一男

運動会 …内容は縮小しても、気持ちは縮小しません

14日（月）より、運動会の特別日課が始まっています。その最初に「運動会に向けた全校集会」がありました。その中で、私にも話す機会をもらえたので、次のような話をしました。概要です。

一つだけ、話をします。それは皆さんに4月から伝えてきている「カッコイイ」ということです。

運動会でのカッコイイ姿とは、どういうことでしょうか。今、皆さんは私の話を聞いていますが、今、カッコイイというのはどんなことでしょうか。体育座りをして、私の方を見ている人がカッコイイと思います。この前、1・2年生が体育館で表現の練習をしているところを見ました。練習が始まる前に、整列をして、実行委員がテーマを発表していました。そのテーマにも「かっこいい」という言葉が使われていましたが、私は、1・2年生が、ピシッと整列している姿を見て、カッコイイと思ったのです。きれいに整列することは、とてもカッコイイことだと思います。

また、こういう姿はどうでしょうか。運動会で、リレーをしたときに、ビリになってしまいました。最後の人があきらめて全力で走っていません。これはカッコイイことですか。違いますよね。児童会本部が考えて代表委員会で決定したテーマが飾られています。この中にも「全速力で最後まで」という言葉が入っています。たとえ、ダントツでビリになっても、最後までがんばる姿はカッコイイと思いますし、それが運動会のテーマを達成することだと思います。

今、皆さんは座っていますが、この後、立つことになると思います。立ったときにお尻についた砂をパンパン払うことはカッコイイと思いますか。私は、払わずにいい姿勢で立つことができる人がカッコイイと思います。このように、今どうすればカッコイイのかを考えて練習や運動会の本番を取り組んでほしいと思っています。これからの練習や運動会本番でみなさんのカッコイイ姿をたくさん見たいと思います。がんばってください。



整列するだけで、子どもたちの真剣な姿を見るだけで、もちろん全力で競技・演技する姿を見て、感動する、そんな運動会になってほしいという願いを込めて話をしました。



運動会に向けた全校集会
カッコイイ整列

本校の運動会には、例年、次の3つのねらいがあります。

- 1 児童会活動の発表の場とする。
- 2 運動能力の向上を図る。
- 3 地域住民との連携を図る

今年度の運動会を実施していくにあたり、感染症対策をとりながら、これらのねらいを達成・実現できる方法を考えてきました。まず、実施できるのかどうかの検討に始まり、様々な制限のある中で、どういう形で実施をすることが一番ねらいに近づけるかなど、検討を重ね、他校の情報も収集をし、実施の形を探ってきました。

その結果、ご案内の通り、午前中半日のみの開催とし、内容を学年ごとのリレー、低・中・高学年のブロックごとの表現運動に絞り、また、観覧者を制限させていただくという形をとることとしました。

内容は縮小しましたが、**子どもたちが学ぶ内容を縮小したわけではありません。何より、運動会へかける気持ちを縮小したわけではありません。**子どもたちにとって、昨年までの運動会以上の成果となるように、大切な取り組みとして指導しています。

ねらい1「児童会活動の発表の場とする」について

児童会本部、6年生を中心とした子どもたちの自主性を育てる取り組みとしていきます。開会式の中で行う「誓いの言葉」に続けて行う「応援」の場面の練習、色ごとの整列や色別の集会などで6年生が活躍しています。

また、係活動を分担して、6年生が運動会の運営側にも加わります。

そして、6年生が率先してリレーの自主練習をし出しました。それが他の学年へも波及しています。子どもたちが自主的に取り組む運動会として動き出しています。

児童会本部が、原案をつくり、代表委員会で決定した運動会のテーマが校舎に掲げられています。



応援リーダー



三色の輝き 404名の絆 全速力で最後まで!

私たち教職員も指導・支援しますが、子どもたちの力で運動会をよりよいものにできるはずです。6年生を中心に「カッコイイ」運動会をめざしてほしいと思います。

ねらい2「運動能力の向上を図る」について



リレーの練習

各学年におけるリレーにおいて、また、低中高の各ブロックで行う表現運動において、今後の運動に対する興味・関心を高めること、仲間とともに作り上げる喜びや、一緒に運動したり、表現したりする楽しさなどを味わうことを目標に取り組みます。両種目ともに、協力の意味を学び、やり遂げることの達成感などを実感することができます。リレーの自主練習に現れるように、運動の楽しさを学ぶとともに、自分たちの力で協力して取り組むことで運動会をさらに「カッコイイ」ものにできると考えています。また、取り組みを通して、自分の力を知り、友達のよさを発見する取り組みにしたいと思っています。

ねらい3「地域住民との連携を図る」について

運動会だけでなく、様々な行事や活動も同様に、このねらいだけは実現が難しい状況にあります。地域の方々や保護者の皆さんにどんどん学校に来ていただき、様々な活動を一緒にしていただいたり、見ていただいたりしたいと考えているのですが、校庭で行う運動会であっても人数の制限をしなければなりません。

保護者・地域との連携を図るために、学校から積極的に情報を発信していくことが一つの方法ですが、別の形の連携を図る方法をPTAの役員さん方と話し合い、検討しています。



保護者・地域への発信の一つ
ホームページ

子どもたちにとっても、保護者の皆さんにとっても、楽しく過ごす秋の1日としたいと考えています。現状で考えられる最大限の「カッコイイ」ものにすべく、子どもたちと教職員で取り組んでいます。